

白井市のチョウ相

三 沢 博 志

1. はじめに

白井市は北総台地の西部に位置し、東は八千代市と印西市、南は船橋市、西は鎌ヶ谷市、北は柏市（旧沼南町）に接している。市域は東西 8.7km、南北 7.7km で、面積は 35.41k m²である。

白井市は、自然環境調査の空白区域となっているが、チョウについても同様である。そのため、白井市はもとより、北総地域のチョウ相の解明に寄与することを目的に、白井市のチョウの生息状況を調査した。

報告にあたり、調査の機会を与えて下さった東邦大学の長谷川雅美教授、資料を提供していただいた谷川正樹氏、チョウについて日ごろご教示いただいている柳澤勉氏に、厚くお礼申し上げます。

2. 調査の方法

現地の調査と文献による調査を行った。

(1) 現地調査

現地調査は、今回の調査で設定された谷田、神々廻、折立の 3 地区とした。2004 年は谷田を中心に 16 回、2005 年は谷田、神々廻、折立を 25 回、2006 年は谷田を中心に 14 回、更に、補充調査として 2008 年に谷田を中心に 13 回の計 68 回の現地調査を実施した。調査日及び調査地区は次のとおり。記録は、原則として写真撮影に基づき、目撃記録はその旨を記載した。

2004 年

調査月日	調査場所
3月29日	谷田
4月12日	谷田
6月7日	谷田
6月12日	谷田
6月21日	谷田・神々廻
7月5日	谷田・神々廻
7月12日	谷田・神々廻
7月20日	谷田・神々廻・折立
7月26日	谷田・神々廻
8月2日	谷田・神々廻
8月16日	谷田・神々廻
9月1日	谷田・神々廻
9月19日	谷田
10月2日	谷田・神々廻
10月29日	谷田
11月22日	谷田

2005年

調査月日	調査場所
3月30日	谷田
4月9日	神々廻・折立
4月17日	谷田・神々廻
4月25日	谷田・神々廻
4月30日	折立
5月1日	谷田
5月9日	谷田・神々廻
5月28日	谷田・神々廻
6月6日	谷田・神々廻・折立
6月9日	谷田
6月13日	谷田・神々廻・折立
6月20日	谷田・神々廻・折立
6月26日	谷田・折立
7月11日	谷田
7月19日	谷田・神々廻・折立
8月1日	谷田・神々廻
8月8日	谷田・神々廻・折立
8月20日	谷田・神々廻
8月29日	谷田・神々廻・折立
9月3日	谷田・神々廻
9月19日	谷田
9月26日	谷田・神々廻・折立
10月13日	谷田
10月24日	谷田・神々廻・折立
11月7日	谷田・神々廻・折立

2006年

調査月日	調査場所
4月3日	谷田
4月24日	谷田・神々廻
5月26日	谷田・神々廻
5月31日	谷田・神々廻・折立
6月17日	谷田・神々廻
6月19日	谷田
7月1日	谷田・神々廻
8月7日	谷田・神々廻
8月14日	谷田・神々廻
9月4日	谷田・神々廻
9月25日	谷田・神々廻
10月10日	谷田
10月30日	谷田

11月18日 谷田

2008年

調査月日	調査場所
4月6日	谷田
4月15日	谷田
4月22日	谷田・神々廻
5月8日	谷田
6月2日	谷田・折立
6月10日	谷田・神々廻・折立
6月16日	谷田
6月25日	谷田
7月28日	谷田・神々廻
8月11日	谷田
8月22日	谷田・神々廻・折立
9月8日	谷田・神々廻
9月25日	谷田・神々廻・折立

(2) 文献調査等

白井市を対象とした自然誌に関する文献は、極めて少ない。チョウに関係する文献も同様であるが、過去のチョウ相解明のため、文献調査を実施した。

また、筆者が実施した1994年～1996年及び2001年～2003年までの調査による写真記録についても、必要に応じ、文献調査の結果と併せて、文献記録等として記載した。

3. チョウ類目録

セセリチョウ科 Hesperidae

1. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* (Bremer)

【記録】

2004.7.26 1ex. 谷田, 2005.5.28 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 折立, 2005.6.9 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.13.1ex. 折立, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 折立, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 神々廻, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 神々廻, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 折立, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

飛び方は敏捷ではあるが、すぐに葉の上に翅を広げて静止する。驚くと葉の裏にへばりつく習性がある。幼虫の食草はヤマノイモであり、ヤマノイモが生育する林縁でよく見られる。

谷田, 神々廻, 折立のほか、平塚でも見られ、市内全域で生息しているものと思われる。市内では5月～9月に見られ、アキノタムラソウ、クリ、ナワシロイチゴ、ノハラアザミ、ハギ、ハルジオン、ヒメジョオンへの訪花を観察した。

2. ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (Bremer et Grey)

【記録】

2004.7.5 1ex. 神々廻, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.9.1 1ex. 谷田, 2005.5.9 1ex. 谷田, 2005.5.9 1ex. 神々廻, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2006.4.24 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

2002.7.11 1ex. 復 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

明るい草原や田んぼの畦道などを低く、弱々しく飛び、花によく止まる。翅裏には銀白条があり、春型でははっきりしており目立つが、夏型では地色に近くなり、不鮮明になる。幼虫の食草は、ススキなど。

谷田, 神々廻のほか、復, 河原子, 根でも見られたが、局地的に極く少数が生息しているものと思われる。市内では、4月、5月、7月、9月に見られ、コウゾリナ、ジュウニヒトエ、セイヨウタンポポ、ハルジオンへの訪花を観察した。

3. コチャバネセセリ *Thoressa varia* (Murray)

【記録】

2004.7.12 1ex. 神々廻, 2004.7.20 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 神々廻, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 神々廻, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.9 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

花から花へ敏捷に飛び廻る。草原や林の道などでよく見られる。食草は、アズマネザサなどササ類。セセリチョウの仲間の幼虫は、タケ科やイネ科などの単子葉植物を食草とするものが多く、これらの葉を巻いて巣としている。

谷田, 神々廻で見られた。市内では、おおむね5月～9月に見られ、アカツメクサ、ハルジオンへの訪花を観察した。

4. キマダラセセリ *Potanthus flavus flavus* (Murray)

【記録】

2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田.

【解説】

黄色のまだら模様で、他のセセリチョウ科のチョウと同様に、敏速に飛び、花などを吸蜜のために訪れる。前翅を半開、後翅を全開にして静止することが多い。

谷田, 神々廻で見られた。市内では6月～9月に見られ、キツネノマゴ、クリ、コウゾリナ、ヒメジョオンへの訪花を観察した。

5. オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida pellucida* (Murray)

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1996.10.14 lex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

後翅の4つある白い紋が一直線上にあるのがイチモンジセセリ, 互い違いになって凸凹状になっているのがオオチャバネセセリだが, とてもよく似ている。別名ハナセセリと呼ばれるように多くの花を吸蜜に訪れる。幼虫の食草は, タケ科のアズマネザサ, ミヤコグサやイネ科のススキ, イネなど。最近, 各地でのオオチャバネセセリの採集記録, 観察記録がなくなっている。今回の調査では見られなかった。

6. ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* (Butler)

【記録】

2004.7.5 lex. 神々廻, 2004.7.12 lex. 谷田, 2004.7.20 lex. 谷田, 2005.4.17 lex. 谷田, 2005.4.25 lex. 谷田, 2005.4.25 lex. 神々廻, 2005.5.1 lex. 谷田, 2005.5.9 lex. 谷田, 2005.7.11 lex. 谷田, 2005.7.19 lex. 谷田, 2005.7.19 lex. 神々廻, 2005.8.1 lex. 神々廻, 2005.8.8 lex. 谷田, 2005.8.20 lex. 谷田, 2005.8.29 lex. 谷田, 2005.8.29 lex. 神々廻, 2006.4.24 lex. 谷田, 2008.4.22 lex. 谷田, 2008.5.8 lex. 谷田, 2008.7.28 lex. 神々廻, 2008.9.8 lex. 谷田, 2008.9.8 lex. 神々廻。

【文献記録等】

2003.4.28 lex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表)。

【解説】

「深山」の名のとおり, 山地に多いが, 近年平地でも多く見られるようになった。オオチャバネセセリに似るが, 後翅裏面の基部にある大型の白斑に特徴がある。

谷田, 神々廻のほか, 根でも見られた。市内ではおおむね4月~9月に見られ, ジュウニヒトエ, セイヨウタンポポ, タチツボスミレ, ノハラアザミ, ハルジオン, ムラサキケマンなどへの訪花を観察した。

7. チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* Evans

【記録】

2004.7.12 lex. 谷田, 2004.7.26 lex. 谷田, 2004.10.2 lex. 谷田, 2004.10.29 lex. 谷田, 2005.8.8 lex. 谷田, 2005.9.19 lex. 谷田, 2005.9.26 lex. 神々廻, 2005.9.26 lex. 谷田, 2005.10.13 lex. 谷田, 2005.11.7 lex. 谷田, 2006.9.4 lex. 神々廻, 2006.10.30 lex. 谷田, 2008.7.28 lex. 谷田, 2008.9.8 lex. 谷田, 2008.9.25 lex. 谷田。

【文献記録等】

1990.10.26 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1996.10.14 lex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表)。

【解説】

茶色の翅にあるいくつかの白い紋は小さく, 中には消失して見えない個体もある。幼虫の食草はススキ, チガヤなど。

谷田, 神々廻で見られた。市内では7月~11月に見られ, アカツメクサ, キツネノマゴ, タチフウロ, ノハラアザミ, ヤマハギなどへの訪花を観察した。

8. イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* (Bremer et Grey)

【記録】

2004.7.5 lex. 谷田, 2004.7.5 lex. 神々廻, 2004.7.12 lex. 谷田, 2004.9.1 lex. 谷田, 2004.9.1 lex. 神々廻, 2004.9.19 lex. 谷田, 2004.10.2 lex. 谷田, 2004.10.2 lex. 神々廻, 2005.5.28 lex. 神々廻, 2005.7.11 lex. 谷田, 2005.7.19 lex.

神々廻, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 神々廻, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 折立, 2005.9.26 1ex. 神々廻, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 神々廻, 2006.9.25 1ex. 谷田, 2006.10.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 折立, 2008.9.8 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻, 2008.9.25 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2002.9.24 1ex. 復 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

後翅の白い紋が横一文字に並ぶのが特徴. 飛び方は, 極めて敏速で直線的. 秋に多く見られ, 集団移動することで知られている. 幼虫の食草はイネ科のイネ, チガヤ, ススキなどで, 特にイネの害虫としても有名である. イネの葉を数枚つづり合わせ, そのなかに入っているので, イネツトムシとも呼ばれている. 成虫は水田の近くで多く見られる.

谷田, 神々廻, 折立のほか, 復, 河原子でも見られ, 市内全域で生息しているものと思われる. 市内では5月~10月に見られ, オカトラノオ, ガガイモ, カセンソウ, キツネノマゴ, セイタカアワダチソウ, タチフウロ, ツリガネニンジン, ノハラアザミ, ハルジオン, ヒョドリバナ, ヤマハギなど多くの花への訪花を観察した.

アゲハチョウ科 Papilionidae

9. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous alcinous* (Klug)

【文献記録等】

1990.8.30 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

緩やかに優雅に飛ぶ黒いアゲハチョウ. 腹部の赤い模様が特徴. 食草はウマノスズクサなどウマノスズクサ科の植物に限られるため, 環境の変化を受けやすい.

今回の調査では見られなかった.

10. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* (Fruhstorfer)

【記録】

2005.6.6 1ex. 折立, 2005.6.13 1ex. 神々廻, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

黒地に青緑色の太い帯がまるで窓であるかのように感じられる. 幼虫はクスノキ科のクスノキ, タブノキなどを食べるため, 街路樹や公園の樹木として植えられている市街地でもよく見られる.

谷田, 神々廻, 折立で見られ, 市内全域で生息しているものと思われる. クリ, ヒメジョオン, ヤブカラシへの訪花を観察した.

11. アゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus

【記録】

2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.6.21 1ex. 神々廻, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 折立, 2005.6.20 1ex. 折立, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1986.8.24 1ex. 今井 岡本正豊目撃 (柳澤 2002), 1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地
区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

アゲハの翅の地色は淡いクリーム色が多いが、黄色味が強い個体もいるため、黄色味の濃淡
だけではキアゲハとの区別は難しい。本種は前翅中室が黒い縞模様となっているのが特徴。幼
虫の食草は栽培ミカン類、カラタチ、サンショウなどミカン科の植物。最近では各種ミカン類の
鉢植えなどが住宅の庭やマンションのベランダなどにも置かれることが多いため、住宅地でも
よく見られる。幼虫は、鳥から身を守るため、茶と白で鳥の糞に似せているが、終齢になると、
緑色の頭でっちなイモ虫に変わる。

谷田、神々廻、折立のほか、平塚でも見られ、市内全域で生息しているものと思われる。ア
キノタムラソウ、クララ、ヒメジョオンなどへの訪花を観察した。

12. キアゲハ *Papilio machaon Hippocrates C.et R.Felder*

【記録】

2004.6.7 1ex. 谷田, 2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2004.8.2 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex.
神々廻 目撃, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 折立, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2008.4.15 1ex. 谷
田, 2008.5.5 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 神々廻, 2008.8.11 1ex. 谷田,
2008.9.8 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2002.7.21
1ex. 名内 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

最も垂直分布の広いチョウで、海拔 0m の平地から 3000m 近くの高山帯までに棲息してい
る。アゲハよりも明るい環境を好み、日当たりのよい草原や田んぼの畦道などでよく見られる。
アゲハとの相違は、キアゲハの前翅中室は胡麻斑状となっているところ。幼虫の食草は、セリ
科のセリ、シシウドなどのほか、栽培種のニンジン、パセリ、ミツバ、セロリなど。

谷田、神々廻、折立のほか、名内、平塚、白井でも見られ、市内全域で生息しているもの
と思われる。アカツメクサ、アキノタムラソウ、キツネノマゴ、ツツジ、ノアザミ、ノハナシ
ョウブ、ノハラアザミ、ハルジオン、ヤブカラシなどへの訪花を観察した。

13. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius Stoll*

【記録】

2004.7.20 1ex. 折立 目撃, 2005.5.9 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

黒いチョウの代表格であるが、最近ナガサキアゲハの北上も報告されており、オナガアゲハ
とともに識別に注意する必要がある。林の中などを好み、蝶道に沿って飛ぶ。ミカン科の植物
を食草とし、カラスザンショウなどのほか、栽培種のナツミカン、キンカンなども食するため、
住宅地などでも見られる。

谷田、折立のほか、復でも見られた。スイカズラ、ツツジ、ノハラアザミへの訪花を観察した。

14. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* C.et R.Felder

【記録】

2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 折立 目撃, 2006.8.7 1ex. 谷田.

【解説】

黒地に青緑色の鱗粉のある美しいチョウ。林のなかの蝶道を飛ぶ姿を見かけることはあるが、静止する姿を見かけることは極めて稀である。ミカン科の植物を食草とするが、栽培種は好まないようで、野生種のカラスザンショウ、カラタチなどを食べるため、森や林のなかで見られる。谷田、折立で見られたが、稀である。アキノタムラソウへの訪花を観察した。

シロチョウ科 Pieridae

15. キチョウ *Eurema hecabe* (Linnaeus)

【記録】

2004.4.12 1ex. 谷田, 2004.6.7 1♀ 産卵 谷田, 2004.8.2 1ex. 谷田, 2004.8.16 1ex. 谷田, 2004.9.1 1ex. 谷田, 2004.9.19 1ex. 谷田, 2004.10.2 1ex. 神々廻, 2004.10.29 1ex. 谷田, 2005.4.9 1ex. 折立, 2005.5.9 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1♂1♀ 交尾 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 神々廻, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.10.24 1ex. 谷田, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2006.4.24 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 神々廻, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2006.9.25 1ex. 谷田, 2006.9.25 1ex. 神々廻, 2006.10.10 1ex. 谷田, 2006.10.30 1ex. 谷田, 2008.6.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1♀ 産卵 谷田, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.7.28 1♂1♀ 交尾 神々廻, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻, 2008.9.8 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻, 2008.9.25 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

黄色いチョウで様々な環境のもとで見ることができる。幼虫の食草は、ヤマハギ、ネムノキなどのマメ科植物。成虫で越冬するが、秋に個体数が多くなるようで、よく見られる。

谷田、神々廻、折立で見られ、市内全域で生息しているものと思われる。市内では4月～11月に見られ、アカツメクサ、アキノタムラソウ、アキノノゲシ、アメリカセンダングサ、キツネノマゴ、ジュウニヒトエ、セイタカアワダチソウ、タチツボスミレ、タチフウロ、ナワシロイチゴ、ノハラアザミ、ヤマハギなどへの訪花を観察した。

16. モンキチョウ *Colias erate poliographus* Motschulsky

【記録】

2004.6.7 1ex. 谷田, 2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.6.21 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.7.20 1ex. 谷田, 2004.7.26 1♀ 産卵 谷田, 2004.8.2 1♀ 産卵 谷田, 2004.8.16 1ex. 谷田, 2005.4.17 1ex. 谷田, 2005.5.1 1ex. 谷田, 2005.5.9 1ex. 谷田, 2005.6.6 1♀ 産卵 谷田, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 神々廻, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 神々廻, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2006.10.10 1ex. 谷田, 2006.10.30 1ex. 谷田, 2006.11.18 1ex. 谷田, 2008.4.15 1♀ 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田.

【文献記録等】

2002.9.24 1ex. 復 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

キチョウに似るが、前翅の翅裏に黒い紋、後翅に白い紋があるのが特徴。翅を開いて止まる

ことはない。耕作地や牧草地などの明るい環境でよく見られる。雌には黄色と白色の2つの型がある。幼虫の食草は、マメ科のアカツメクサ、シロツメクサなど。

谷田、神々廻のほか、復でも見られ、市内の広い地域で生息しているものと思われる。牧草地のある谷田での個体数は多い。市内では4月～11月に見られ、アカツメクサ、セイヨウタンポポ、タチフウロ、ハルジオン、ヒメジョオンへの訪花を観察した。

17. スジグロシロチョウ *Pieris melete melete* Menetries

【記録】

2004.4.12 1ex. 谷田, 2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.8.16 1ex. 谷田, 2005.5.1 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2006.4.3 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.22 1ex. 谷田, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

モンシロチョウに似ているが、翅脈が黒くなる。棲息環境は、モンシロチョウより暗い環境の日陰などを好み、畑などの耕作地のほか、住宅地や市街地でも見られる。幼虫の食草は、アブラナ科のイヌガラシ、オオアラセイトウ (ハナダイコン、ムラサキハナナとも言う) など。都市の側溝に生えるイヌガラシや、庭の片隅や空き地に生えるオオアラセイトウを食するため、都市部でも多く見られる。

谷田、神々廻で見られたが、市内の広い地域で生息しているものと思われる。市内では4月～9月に見られ、アカツメクサ、アキノタムラソウ、キジムシロ、キツネノマゴ、クリ、シロツメクサ、セイヨウタンポポ、タチツボスミレ、ドクダミ、ハルジオン、ヒメジョオン、モミジイチゴなどへの訪花を観察した。

18. モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval

【記録】

2004.7.5 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 神々廻, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2005.4.17 1ex. 谷田, 2005.4.30 1ex. 折立, 2005.5.28 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 神々廻, 2005.6.9 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.7.11 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 神々廻, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 神々廻, 2005.9.26 1ex. 折立, 2005.10.24 1ex. 折立, 2005.10.24 1♂1♀ 交尾 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 神々廻, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.10.10 1ex. 谷田, 2006.10.30 1ex. 谷田, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 折立, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 折立, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 折立.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2002.7.19 1ex. 復 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

黒い紋のある白い蝶。モンシロチョウは、早春から晩秋まで、陽当たりのよい畑などの周辺でよく見られる。幼虫の食草は、キャベツ、コマツナ、ダイコン、カブなどの栽培種のアブラナ科の植物。特に、キャベツの害虫として知られている。日本固有種ではなく、かなり昔に野菜とともに大陸から入ってきたものと考えられている。蛹で越冬する。

谷田, 神々廻, 折立のほか復, 富塚, 平塚でも見られ, 市内全域で生息しているものと思われる。普通に見られ, 個体数は多い。市内では, 4月~10月に見られ, アカツメクサ, アキノタムラソウ, アメリカセンダングサ, カタバミ, キツネノマゴ, クリ, コウゾリナ, セイタカアワダチソウ, セイヨウタンポポ, タチフウロ, ノアザミ, ハルジオン, ヒメジョオンなどへの訪花を観察した。

19. ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler

【記録】

2005.4.17 1ex. 谷田, 2005.4.25 1♀ 谷田, 2005.4.30 1♂ 折立, 2005.5.1 1ex. 谷田, 2006.4.24 1♂1♀ 谷田, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.4.22 1♂ 谷田。

【文献記録等】

1994.4.11 1♀ 今井 岡本正豊目撃 (柳澤 1994,2002), 2003.4.28 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表)。

【解説】

成虫は春先だけに見られ, 水田や湿地に沿った林縁などを一定の高さを保ったまま弱々しく飛ぶ。めったに止まらないので, 確認できずにモンシロチョウとして報告されることも多い。翅裏は唐草模様。雄の翅端はオレンジ色。幼虫の食草は, アブラナ科のタネツケバナ, イヌガラシなど。1年の大半を蛹で暮らしている。

谷田, 折立で4月上旬から5月上旬まで見られた。セイヨウタンポポ, ハルジオン, ヒメオドリコソウ, ホトケノザ, ムラサキケマンなどへの訪花を観察した。

シジミチョウ科 Lycaenidae

20. ムラサキシジミ *Narathura japonica* (Murray)

【記録】

2004.3.29 1ex. 谷田, 2004.4.12 1ex. 谷田, 2004.6.21 1ex. 神々廻, 2004.7.5 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 神々廻, 2004.8.2 1ex. 谷田, 2004.8.2 1ex. 神々廻, 2004.9.1 1ex. 谷田, 2004.9.19 1ex. 谷田, 2004.10.29 1ex. 谷田, 2004.11.22 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 折立, 2005.7.11 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1ex. 谷田, 2008.4.22 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻, 2008.9.8 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 谷田。

【文献記録等】

1990.8.30 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b)。

【解説】

翅を閉じているときは地味で目立たないが, 開くと青紫色が鮮やか。幼虫はシラカシ, アラカシのほか, クヌギ, コナラなどのブナ科の植物を食べており, 特に照葉樹の林縁などでよく見られる。幼虫とアリとの関係, 成虫越冬でも知られている。

谷田, 神々廻, 折立のほか, 白井でも見られ, 市内全域で生息しているものと思われる。市内では, おおむね3月~11月に見られ, 花にはあまり訪れないが, セイタカアワダチソウへの訪花を観察した。

21. アカシジミ *Japonica lutea lutea* (Hewitson)

【記録】

2004.6.7 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 折立, 2006.5.26 1ex. 谷田。

【文献記録等】

1993.6.27 5♀ 大 山口 清水照雄・鈴木敏雄採集 (柳澤 2002), 1994.6.5 2♂5♀ 大 山口 早津友哉採集 (柳澤 2002), 1994.6.5 2ex.s 大 山口 早津友哉目撃 (柳澤 2002), 1994.8.24 2 卵 大 山口 早津友哉採集 (柳澤 2002), 2003.6.2 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表), 2003.6.9 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

ミドリシジミの仲間で、平地で見られるゼフィルス的一种。オレンジ色の翅に白条があり、翅を開いて止まることはほとんどない。幼虫の食樹は、クヌギ、コナラなどで、雑木林とその周辺で見られる。昼間は葉上に静止していたり、クリなどに吸蜜に訪れたりして目立たないが、夕方になると活発に飛翔する。

谷田、折立で、5月下旬～6月下旬に見られたが、極めて稀である。

22. ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia attilia* (Bremer)

【記録】

2005.6.13 1ex. 折立, 2005.6.20 1ex. 神々廻, 2005.6.20 1ex. 折立.

【過去の記録】

1994.6.5 2ex.s 大 山口 早津友哉採集 (柳澤 2002).

【解説】

水色がかった白地の翅に黒い帯と点があり、尾状突起のある付け根にはオレンジ色の紋がある。クヌギ、コナラなどを食樹としており、雑木林とその周辺で見られる。

神々廻、折立で、6月に見られたが、極めて稀である。

23. ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus* (Murray)

【記録】

2004.6.7 1♀ 谷田, 2004.6.12 1♀ 谷田, 2004.6.21 1ex. 谷田, 2005.6.9 1♂ 谷田, 2005.6.13 1♂ 谷田, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.26 1♂1♀ 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.6.25 1♂ 谷田.

【文献記録等】

1979.7.3 1♂3♀ 白井町 青木章八採集 (青木 1988), 1982.6.13 22♂ 富塚 青木章八採集 (柳澤 1994,2002), 1982.6.15 25♂ 富塚 青木つね採集 (柳澤 1994,2002), 1986.6.12～14 26♂幼虫 富塚 青木章八採集 (柳澤 1994,2002), 1986.6.14～20 7♂6♀幼虫 富塚 青木章八採集 (柳澤 1994,2002), 1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2003.6.9 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

ゼフィルスのなかで雄の翅表が金属光沢に輝くものを高等ゼフィルスと呼んでいるが、ミドリシジミもその一種。ハンノキを食樹としており、その周辺部で見られるが、日中はあまり活動せず、夕方活発に飛翔する。

谷田でのみ、6月上旬～7月中旬に見られた。市内全域からみると極めて稀である。クリ、クララへの訪花を観察した。

24. オオミドリシジミ *Favonius orientalis* (Murray)

【記録】

2004.6.21 1♀ 谷田.

【文献記録等】

1977.12.8 58 卵 根<白井木戸> 清水照雄・鈴木敏雄採集 (柳澤 1992,1994,2002, 岩阪 1999), 1978.5.20～26 9♂2

♀ 根〔飼育羽化〕青木章八採集(柳澤 1994,2002), 1978.5.24 1♂ 白井東部(岩阪 1995,1999), 1981.5.26 1♂ 富士<南園>〔飼育羽化〕青木章八採集(柳澤 1994,2002), 1981.5.29 1♀ 根〔飼育羽化〕青木章八採集(柳澤 1994,2002), 1986.11.3 30 卵 根 清水照雄・鈴木敏雄・津田芳之採集(柳澤 1992,1994,2002, 岩阪 1999), 1989.1.2 90 卵 根 清水照雄・中丸敏郎採集(柳澤 1992,1994,2002, 岩阪 1999), 1992.1.20 21 卵 富塚 青木章八採集(柳澤 1994,2002), 1992.6.29 1♂ 谷田 楠窪のり子採集(楠窪 1994, 柳澤 1994,2002, 岩阪 1999), 1993.6.27 2♂1♀ 大山口 清水照雄・鈴木敏雄目撃(柳澤 2002), 1994.6.5 1♂ 大山口 早津友哉採集(柳澤 2002), 1994.6.5 1ex. 大山口 早津友哉目撃(柳澤 2002), 1994.7.28 56 卵 大山口 早津友哉採集(柳澤 2002).

【解説】

翅裏は淡い灰白色をしているが、雄の翅表は青緑色の金属光沢がある。雌の翅表は黒褐色。食樹はクヌギ、コナラなどで、雑木林とその周辺で見られる。雄は午前中、活発に活動する。谷田で6月に見られたが、極めて稀である。

25. ゴイシンジミ *Taraka hamada hamada* (H.Druce)

【文献記録等】

1990.8.30 富塚(白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影(未発表)

【解説】

翅裏は、白地に黒い斑点がまるで基石を置いたような模様になっている。翅を開くことはほとんどないが、飛んでいるときにちらちら見える翅表は黒色。薄暗いササの周辺をゆっくりと飛ぶ。幼虫が食べるのは、ササ類につくタケノアブラムシ。チョウのなかでは珍しい肉食性で、成虫も口吻を伸ばしてその分泌物を吸汁する。アブラムシの発生状況が影響し、年変化が激しい。今回の調査では見られなかった。

26. ベニンジミ *Lycaena phlaeas daimio* (Matsumura)

【記録】

2004.4.12 1ex. 谷田, 2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.6.21 1ex. 谷田, 2004.7.5 1ex. 谷田, 2004.10.2 1ex. 谷田, 2004.10.29 1ex. 谷田, 2005.4.17 1ex. 谷田, 2005.4.25 1ex. 谷田, 2005.4.30 1ex. 折立, 2005.5.1 1ex. 谷田, 2005.5.9 1ex. 谷田, 2005.5.28 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 神々廻, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 折立, 2005.7.11 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 神々廻, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 神々廻, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.10.24 神々廻, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2005.11.7 折立, 2006.4.24 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2008.4.15 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.4.22 1ex. 谷田, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 折立, 2008.9.25 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.10.26 富塚(白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2002.7.11 1ex. 復 三沢博志写真撮影(未発表).

【解説】

川に沿った草地、田んぼの畦道、畑の周辺など比較的明るい環境を好む。飛び方は敏速だが、すぐに花や葉の上に止まり、セイタカアワダチソウ、ヒメジョオンなど多くの花で吸蜜する。季節型があり、春型は前翅の表が鮮やかな朱色となるが、夏型は朱色の中に黒色帯が広がる。秋には春型と同じとなる。幼虫の食草は、タデ科のスイバ、ギンギシなど。

谷田、神々廻、折立のほか、復、富塚、河原子でも見られ、市内全域で生息しているものと思われる。普通に見られ、個体数は多い。市内では4月～11月に見られ、アカツメクサ、カタ

バミ, キツネノマゴ, シロツメクサ, セイヨウタンポポ, タチフウロ, ナズナ, ヒメジョオン, ワルナスビなどへの訪花を観察した.

27. ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus)

【記録】

2004.10.2 1♀ 谷田, 2004.10.2 1ex. 神々廻, 2005.9.19 1♀ 谷田, 2005.9.26 1♂ 神々廻, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.10.24 1♂ 神々廻, 2008.9.25 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1990.10.26 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

翅裏が波模様になる南方系のチョウ. 無霜地帯でしか越冬できないとされており, この地域では冬を越す個体はいない. 毎年, 無霜地帯の南房総から世代交代を繰り返しながら北上するために, 春には見られずに, 秋に個体数が多くなる. 幼虫は, ヤマハギ, クズ, ダイズ, インゲン, ソラマメなどのマメ科植物を食すため, 畑などでもよく見られる.

谷田, 神々廻で, 9月中旬から10月下旬まで見られた. セイタカアワダチソウ, タチフウロ, ヤマハギへの訪花を観察した.

28. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia* (Menetries)

【記録】

2004.4.12 1ex. 谷田, 2004.6.21 1ex. 谷田, 2004.7.5 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.7.20 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2004.8.2 1♀ 谷田, 2004.8.16 1ex. 谷田, 2004.9.1 1♂1♀ 交尾 谷田, 2004.9.19 1ex. 谷田, 2004.10.2 1♂1♀ 交尾 谷田, 2004.10.29 1♀ 谷田, 2004.11.22 1♂ 谷田, 2005.4.9 1♀ 折立, 2005.4.30 1ex. 折立, 2005.5.9 1♂ 谷田, 2005.5.9 1♀ 神々廻, 2005.5.28 1♂ 谷田, 2005.6.13 1ex. 神々廻, 2005.6.13 1♂ 折立, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.6.26 1ex. 折立, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 神々廻, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1♀ 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 折立, 2005.9.19 1♂1♀ 交尾 谷田, 2005.9.26 1ex. 折立, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.10.24 1ex. 谷田, 2005.10.24 1ex. 折立, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2005.11.7 1♀ 折立, 2006.4.24 1ex. 神々廻, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.8.7 1♀ 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2006.9.25 1♂1♀ 交尾 谷田, 2006.10.30 1♂ 谷田, 2006.11.18 1♂1♀ 谷田, 2008.4.22 1ex. 谷田, 2008.7.28 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.7.28 1ex. 神々廻, 2008.8.11 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻, 2008.8.22 1ex. 折立, 2008.9.8 1♀ 産卵 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻, 2008.9.25 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

町なかでよく見られるシジミチョウは, このヤマトシジミであることが多い. ヤマトシジミの幼虫の食草がカタバミであることから, 道路の片隅やアスファルトの隙間に生えるカタバミの広がりとともに都市部のチョウとなっている. ルリシジミ, ツバメシジミに似るが, ヤマトシジミは翅裏の地色が茶色っぽく, 黒い小紋がはっきりし, 数も多い点の特徴. 幼虫の食草はカタバミのみに限られ, ムラサキカタバミは食さない.

谷田, 神々廻, 折立のほか, 富塚, 平塚, 河原子でも見られ, 市内全域に生息しているものと思われる. 普通に見られ, 個体数は多い. 市内では, 4月~11月に見られ, オオイヌノフグリ, カタバミ, カラスノエンドウ, キツネノマゴ, ゲンノショウコ, シロツメクサ, セイタカアワダチソウ, タチフウロ, ヒメジョオンなどへの訪花を観察した.

29. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* (de l'Orza)

【記録】

2004.6.12 1ex. 谷田, 2005.3.30 1ex. 谷田, 2005.4.17 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 折立, 2005.6.9 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.7.11 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2006.4.3 1ex. 谷田, 2006.4.24 1♀ 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1ex. 谷田, 2008.4.22 1ex. 谷田, 2008.5.8 1♀ 産卵 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 折立, 2008.6.10 1♂1♀ 交尾 谷田, 2008.6.10 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2003.3.24 1ex. 復 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

春の早い時期から見られるチョウ。雄の翅表は青紫色，雌の翅表の外縁には黒帯がある。幼虫の食草は，マメ科，バラ科，タデ科など驚くほど多岐にわたり，主に蕾や花を食べる。

谷田，神々廻，折立のほか，復でも見られ，市内全域に生息しているものと思われる。市内では，おおむね3月～9月に見られ，アカツメクサ，オオイヌノフグリ，キジムシロ，クララ，クリ，タチツボスミレ，ナズナ，ヒメジョオン，モミジイチゴへの訪花を観察した。

30. ツバメシジミ *Everes argiades hellotia* (Menetries)

【記録】

2004.6.7 1♂ 谷田, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.7.20 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 谷田, 2004.8.2 1ex. 神々廻, 2004.8.16 1♀ 谷田, 2004.8.16 1ex. 神々廻, 2004.10.2 1♂1♀ 交尾 神々廻, 2005.4.25 1♂ 谷田, 2005.5.1 1♀ 谷田, 2005.5.9 1♀ 谷田, 2005.6.9 1♂1♀ 交尾 谷田, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2006.6.17 1♀ 谷田, 2006.6.19 1♂1♀ 谷田, 2006.9.4 1♀ 産卵 谷田, 2008.9.8 1♀ 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.4.25 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

後翅の尾状突起とオレンジ色の小紋がある。翅表は，雄では青紫色，雌では黒褐色となっている。幼虫の食草は，ヤマハギ，シロツメクサなど多くのマメ科植物。蕾，花，新芽，若葉を食べる。

谷田，神々廻のほか，復，河原子でも見られ，市内の広い地域で生息しているものと思われる。市内では，4月～10月に見られ，ウマノアシガタ，クララ，ハルジオンへの訪花を観察した。

31. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* de Niceville

【記録】

2005.4.17 1♀ 神々廻, 2005.6.13 1♂ 谷田, 2005.7.19 1♂ 谷田, 2005.9.26 1♂ 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.10.24 1♂ 折立, 2005.11.7 1♀ 谷田, 2005.11.7 1♀ 折立, 2006.4.3 1♀ 谷田, 2008.6.10 1♂ 谷田, 2008.8.22 1♂ 谷田, 2008.9.25 1♂ 神々廻.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1995.10.22 1♂ 神々廻 三

沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

翅裏は、模様もない白一色。翅を開くと、雌雄によって色彩が異なる。雄はオレンジ色、雌は灰白色。幼虫の食草はマメ科のクズ、フジなどで、葉、花、実を食べる。成虫で越冬する。

谷田、神々廻、折立のほか、平塚、根でも見られ、市内全域に生息しているものと思われる。市内では、おおむね4月～11月に見られるが、花を訪れるのを観察したことはなかった。

テングチョウ科 Libytheidae

32. テングチョウ *Libythea celtis celtoides* Fruhstorfer

【記録】

2005.6.13 lex. 折立, 2005.10.24 lex. 神々廻, 2006.4.3 lex. 谷田.

【解説】

天狗のように下唇ひげが長くつきでているのが特徴。翅裏は、まるで枯葉のようで目立たないが、開くと黒地にオレンジ色の紋が際立つ。エノキを食樹としているため、雑木林の林縁などで見られる。春と秋に見られ、夏は夏眠しているとされている。成虫で越冬する。

谷田、神々廻、折立で4月、6月、10月に見られたが、極めて稀である。オオイヌノフグリ、セイタカアワダチソウ、ナズナへの訪花を観察した。

タテハチョウ科 Nymphalidae

33. メスグロヒョウモン *Damora sagana ilona* (Fruhstorfer)

【記録】

2004.7.12 1♂ 谷田, 2004.9.19 1♂ 谷田, 2004.10.2 1♂1♀ 谷田, 2005.6.13 1♂ 谷田, 2005.6.13 1♀ 神々廻, 2005.6.26 1♂ 谷田, 2005.8.29 1♂ 谷田, 2005.9.19 1♂ 谷田, 2005.9.26 1♂ 谷田, 2005.10.13 1♀ 谷田, 2005.10.24 1♀ 谷田, 2006.6.17 1♂ 谷田, 2006.6.19 1♀ 谷田, 2006.9.25 1♂1♀ 谷田, 2006.10.10 1♀ 谷田, 2008.6.10 1♂ 谷田, 2008.6.16 1♂1♀ 谷田, 2008.8.11 1♀ 谷田, 2008.9.8 1♂ 谷田, 2008.9.25 1♀ 谷田.

【解説】

雌雄の姿がまったく異なり、雄は他のヒョウモンチョウと同様、オレンジ色に黒い紋のある豹紋状であるが、雌は黒紫色に黒い紋と似ても似つかない模様となっている。幼虫はタチツボスミレなどスミレ類を食する。明るい草原を好み、アザミ類などを訪れる。

谷田、神々廻で6月～10月に見られたが、個体数は少ないものと思われる。クリ、セイタカアワダチソウ、ノハラアザミ、ヒメジョオンへの訪花を観察した。

34. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia tsushimaana* Fruhstorfer

【記録】

2005.8.29 lex. 谷田, 2008.6.10 1♂ 谷田.

【解説】

翅を開くと、他のヒョウモンチョウと同じような「豹紋」模様であるが、裏面後翅が緑色をおび、その中に3本の銀白条を特徴とするチョウ。平地から山地まで、広く生息する普通種とされているが、千葉県内では、レッドデータブックにも記載されるほどの少ないチョウの一種。林縁や周辺の草地で生息し、幼虫はスミレ類を食べる。

谷田で6月及び8月に見られたが、極めて稀である。クリ、ノアザミ、ノハラアザミへの訪花を観察した。

35. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyoerbius hyperbius* (Linnaeus)

【記録】

2006.5.31 1♀ 神々廻, 2008.8.22 1♂ 折立, 2008.9.25 1♂1♀ 谷田.

【解説】

雌の翅表の先端(ツマ)が黒いことから名付けられたヒョウモンチョウ. 南方系のチョウで, 雌は南西諸島などに生息している有毒のカバマダラに擬態しているとされている. 幼虫は, スミレ類を食し, 庭先のパンジーも食する. 生息分布域を北に広げつつあると考えられており, 船橋市では2006年に初めて記録された.

谷田, 神々廻, 折立で5月・8月及び9月に見られ, ノハラアザミへの訪花を観察した. 今後の分布域の拡大に注目する必要がある.

36. イチモンジチョウ *Ladoga Camilla japonica* (Menetries)

【記録】

2004.6.7 1ex. 谷田, 2004.6.12 1ex. 谷田, 2004.8.2 1ex. 神々廻, 2004.8.16 1ex. 神々廻, 2005.6.13 1ex. 折立, 2005.7.19 1ex. 折立, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚(白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影(未発表), 1994.6.5 2♂ 大山口 早津友哉採集(柳澤 2002).

【解説】

翅を開くと, 中央部に一文字のような白い帯が目立つ. 雑木林の周辺を滑空するように飛ぶ. 幼虫はスイカズラなどを食する.

谷田, 神々廻, 折立で見られ, 市内全域に生息しているものと思われる. 市内では, 5月~10月に見られ, クリなどへの訪花を観察した.

37. アサマイチモンジ *Ladoga glorifica* (Fruhstorfer)

【文献記録等】

1971.6.13 1♀ 新井新田 岩本吉也採集(岩本 1972).

【解説】

イチモンジチョウによく似ていて, 幼虫の食草や生息環境も同じよう混棲する. 翅表や翅裏の白斑により区別する.

近年の記録はない.

38. コミスジ *Neptis sappho intermedia* W.B.Pryer

【記録】

2004.7.12 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 折立, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1991.5.24 富塚(白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影(未発表).

【解説】

翅を開いたときの3列の白帯が特徴. 滑空とはばたきを繰り返す独特な飛び方をする. 雑木

林周辺の明るい環境を好み、葉の上で翅を水平に開いて日光浴をしている。幼虫は、クズ、ハギなどのマメ科植物を食草としている。

谷田, 神々廻, 折立で見られ, 市内全域に生息しているものと思われる。市内では, 5月~9月に見られた。花を訪れることは少ないが, ヒメジョオンへの訪花を観察した。

39. キタテハ *Polygonia c-aureum c-aureum* (Linnaeus)

【記録】

2004.3.29 1ex. 谷田, 2004.6.7 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 神々廻, 2004.8.2 1ex. 神々廻, 2004.10.29 1ex. 谷田, 2005.4.9 1ex. 折立, 2005.4.30 1ex. 折立, 2005.5.28 1ex. 谷田, 2005.6.6 1ex. 折立, 2005.6.9 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 折立, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 折立, 2005.7.19 1ex. 折立, 2005.8.1 1ex. 神々廻, 2005.8.8 1ex. 神々廻, 2005.8.20 1ex. 神々廻, 2005.8.29 1ex. 折立, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 折立, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2005.10.13 1ex. 谷田, 2005.10.24 1ex. 折立, 2005.10.24 1ex. 神々廻, 2005.10.24 1ex. 谷田, 2005.11.7 1ex. 谷田, 2006.4.3 1ex. 谷田, 2006.4.24 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 神々廻, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.9.25 1ex. 谷田, 2006.10.10 1ex. 谷田, 2006.10.30 1ex. 谷田, 2006.11.18 1ex. 谷田, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 折立, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 神々廻, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻, 2008.8.22 1ex. 折立, 2008.9.25 1ex. 折立。

【文献記録等】

1986.8.24 多数 今井 岡本正豊目撃 (柳澤 2002), 1986.8.24 多数 平塚 岡本正豊目撃 (柳澤 1994,2002), 1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1995.10.22 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表)。

【解説】

翅表は, 黄色の地に黒い点が散りばめられている。翅裏は, 地味な茶褐色で目立たない。多くの花のほか, 樹液, 獣糞にも訪れ, 吸汁する。幼虫の食草は, カナムグラなどで, 空き地や荒れ地など明るい環境に多く生息する。成虫で越冬する。

谷田, 神々廻, 折立のほか, 復, 根, 白井, 木でも見られ, 市内全域に生息しているものと思われる。普通に見られ, 個体数は多い。市内では, 3月~11月に見られ, ガガイモ, クリ, セイタカアワダチソウ, セイヨウタンポポ, ハコベ, ハルジオン, ヒメジョオンへの訪花のほか, クヌギの樹液の吸汁も観察した。

40. ルリタテハ *Kaniska canace nojaponicum* (von Siebold)

【記録】

2004.3.29 1ex. 谷田, 2004.7.26 1ex. 神々廻, 2005.4.9 1ex. 神々廻, 2005.5.1 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 神々廻, 2006.4.3 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2008.4.6 1ex. 谷田, 2008.4.15 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻, 2008.9.25 1ex. 神々廻。

【文献記録等】

1994.4.25 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表), 白井町 (高橋 2001)。

【解説】

翅表は黒地に1本の瑠璃色の帯が走っていてとても美しい。翅裏は, 樹皮にととても似ており, 翅を閉じているときは目立たない。幼虫は, サルトリイバラなどのユリ科の植物を食草としている。成虫は樹液によく訪れる。越冬は成虫。

谷田, 神々廻のほか, 清戸でも見られ, 市内の広い地域に生息しているものと思われる。個体数は少ない。市内では, おおむね3月~9月に見られ, クヌギの樹液での吸汁を観察した。

41. アカタテハ *Venessa indica* (Herbst)

【記録】

2004.4.12 lex. 谷田, 2005.5.1 lex. 谷田, 2005.8.29 lex. 神々廻, 2005.10.13 lex. 谷田.

【解説】

ヒメアカタテハより大型で、赤と黒のコントラストが際立ち、どこか男性的な感じのするチョウ。樹液にも訪れる。幼虫の食草は、イラクサ科のカラムシ、ニレ科のケヤキなど幅広い。成虫で越冬する。

谷田, 神々廻で4月, 5月, 8月及び10月に見られたが、極めて稀である。セイタカアワダチソウ, ヒトリシズカへの訪花を観察した。

42. ヒメアカタテハ *Cynthia cardui* (Linnaeus)

【記録】

2004.7.12 lex. 谷田, 2004.8.2 lex. 谷田, 2004.10.29 lex. 谷田, 2005.6.6 lex. 谷田, 2005.6.20 lex. 谷田, 2005.9.19 lex. 谷田, 2005.11.7 lex. 谷田, 2005.11.7 lex. 折立, 2006.6.17 lex. 谷田, 2006.10.30 1♀ 産卵 谷田, 2008.9.8 lex. 谷田, 2008.9.25 lex. 谷田.

【文献記録等】

1990.10.26 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

アカタテハよりも小型で、翅表の赤橙色の部分が広い。ヒメアカタテハは世界中に生息している。幼虫は、ヨモギなどのほか、栽培種のゴボウなども食する。特に秋によく目立つ。

谷田, 折立のほか, 神々廻でも見られ, 市内全域に生息しているものと思われる。市内では, 6月~11月に見られ, キツネアザミ, キツネノマゴ, シロツメクサ, ノハラアザミへの訪花を観察した。

43. ゴマダラチョウ *Hestina japonica* (C.et R.Felder)

【記録】

2004.7.26 lex. 神々廻, 2004.8.2 lex. 神々廻, 2006.6.17 lex. 神々廻, 2008.7.28 lex. 神々廻, 2008.8.11 lex. 谷田, 2008.9.8 lex. 谷田, 2008.9.25 lex. 神々廻.

【文献記録等】

2002.7.21 名内 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

黒地に白色の紋が胡麻斑模様。オオムラサキと同じような生態で、エノキを食樹としている。冬はエノキの根元の葉の下で幼虫の状態を過ごす。成虫は樹液を訪れる。

谷田, 神々廻のほか, 名内, 清戸でも6月~9月に見られたが, 稀である。クヌギの樹液での吸汁を観察した。

ジャノメチョウ科 Satyridae

44. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler

【記録】

2004.6.12 lex. 谷田, 2004.7.26 lex. 谷田, 2004.7.26 lex. 神々廻, 2004.8.2 lex. 谷田, 2005.5.9 lex. 谷田, 2005.5.28 lex. 谷田, 2005.5.28 lex. 神々廻, 2005.6.6 lex. 谷田, 2005.6.6 lex. 神々廻, 2005.6.9 lex. 谷田, 2005.6.13 lex. 谷田, 2005.6.20 lex. 谷田, 2005.7.19 lex. 谷田, 2005.8.1 lex. 谷田, 2005.8.8 lex. 谷田, 2005.8.20 lex. 神々廻,

2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 神々廻, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 神々廻, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.9.4 1ex. 谷田, 2006.9.25 1ex. 谷田, 2006.9.25 1ex. 神々廻, 2008.5.8 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 神々廻, 2008.9.25 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1990.10.26 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1994.5.16 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

翅裏の波模様とその上の目玉紋様が特徴. 地面に近いところを跳ねるように飛ぶ. ジャノメチョウ科のなかでは訪花性が強く, 様々な花を訪れる. 幼虫は, チヂミザサ, スズメノカタビラなどのイネ科に属する多くの植物を食べる.

谷田, 神々廻で見られた. 市内の広い範囲で生息しているものと思われる. 市内では, 5月~9月に見られ, キツネアザミ, キツネノマゴ, クリ, コウゾリナ, ナワシロイチゴ, ヒメジョオンへの訪花を観察した.

45. ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctata* (Motschulsky)

【記録】

2004.7.5 1ex. 神々廻, 2004.7.12 1ex. 谷田, 2004.7.12 1ex. 神々廻, 2004.7.20 1ex. 谷田, 2004.7.20 1ex. 神々廻, 2004.7.26 1ex. 神々廻, 2004.8.2 1ex. 神々廻, 2004.8.16 1ex. 神々廻, 2005.7.19 1ex. 谷田, 2005.7.19 1ex. 神々廻, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 神々廻, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 神々廻, 2005.8.20 1ex. 神々廻, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2006.8.7 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 神々廻, 2008.6.25 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 谷田, 2008.7.28 1ex. 神々廻 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1994.7.28 2♂ 大山口 早津友哉採集 (柳澤 2002), 2003.7.20 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

翅裏は, 濃い茶色をしているが, 翅表にある青い目玉模様が翅を開いたときにとても印象的. ジャノメチョウ科のチョウのなかでは珍しく明るい草原を好み, 地面すれすれのところを飛ぶ. 食草はススキなどのイネ科植物.

谷田, 神々廻で6月下旬から8月下旬まで見られた. 神々廻の特定箇所では多数生息しているが, 市内全域としては極めて稀である. タチフウロ, ノアザミ, ヒメジョオンなどへの訪花のほか, クヌギの樹液での吸汁も観察した.

46. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis* (Hewitson)

【記録】

2004.6.21 1ex. 谷田, 2004.9.19 1ex. 谷田, 2004.10.2 1ex. 神々廻, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 神々廻, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 神々廻, 2005.9.3 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 折立, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 神々廻, 2006.6.19 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 神々廻, 2006.9.25 1ex. 谷田, 2008.6.10 1ex. 谷田, 2008.6.16 1ex. 谷田, 2008.9.8 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 谷田, 2008.9.25 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2003.6.9 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

翅裏は褐色にいくつかの目玉模様がある。花を訪れることは少なく、樹液に集まる。幼虫は、アズマネザサ、ススキなどのイネ科植物を食草としている。

谷田、神々廻、折立のほか、復でも見られ、市内全域に生息しているものと思われる。市内では6月～10月に見られ、クリへの訪花のほか、クヌギの樹液での吸汁を観察した。

47. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (Menetries)

【記録】

2004.8.16 1ex. 神々廻, 2005.6.20 1ex. 神々廻, 2005.8.20 1ex. 神々廻, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 神々廻, 2005.9.3 1ex. 神々廻, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 神々廻, 2006.9.4 1ex. 神々廻, 2008.6.2 1ex. 谷田, 2008.8.11 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 谷田, 2008.8.22 1ex. 神々廻.

【文献記録等】

1988.8.20 1♀ 中 石井敏夫採集 (柳澤 1990a,b,1992,1994,2002, 岩阪 1999), 1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚, 1991.7.18 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 2003.6.2 1ex. 谷田 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

日本の特産種。翅裏は茶褐色の複雑な斑紋と目玉模様になっている。翅を開くことはほとんどない。クヌギの樹液でよく見られる。幼虫は、アズマネザサ、マダケなどタケ類を食べる。

谷田、神々廻で5・6月及び8・9月に見られた。クヌギの樹液での吸汁を観察した。

48. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstofer

【記録】

2004.6.7 1ex. 谷田, 2004.9.19 1ex. 谷田, 2005.9.26 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.6.17 1ex. 谷田, 2008.6.2 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b), 1996.10.14 1ex. 神々廻 三沢博志写真撮影 (未発表).

【解説】

翅を閉じると、中央部に1本の白い帯とそれに沿って大小いくつかの目玉模様が縦に並ぶ。コジャノメに似ているが、コジャノメよりも明るい環境を好む。チヂミザサ、ススキなどのイネ科などを食草としている。

谷田のほか、名内、平塚でも見られ、市内の広い地域に生息しているものと思われる。市内では、おおむね5月～9月に見られたが、花を訪れた姿は見たことがない。

49. コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* Hewitson

【記録】

2005.5.28 1ex. 谷田, 2005.6.13 1ex. 谷田, 2005.6.20 1ex. 神々廻, 2005.6.26 1ex. 谷田, 2005.8.1 1ex. 谷田, 2005.8.8 1ex. 谷田, 2005.8.20 1ex. 谷田, 2005.8.29 1ex. 谷田, 2005.9.19 1ex. 谷田, 2006.5.26 1ex. 谷田, 2006.5.31 1ex. 谷田, 2006.7.1 1ex. 谷田, 2006.8.14 1ex. 神々廻, 2008.6.16 1ex. 谷田.

【文献記録等】

1990.8.30 富塚, 1991.5.24 富塚 (白井・沼南土地区画整理組合設立準備委員会 1993a,b).

【解説】

ヒメジャノメと似ているが、地色はより暗く、後翅裏面の白帯が紫色を帯びること、目玉模

様の配列状態によって見分けることができる。森や林の中などの暗い環境を好む。食草は、チヂミザサ、ススキなどのイネ科植物。

谷田，神々廻で，5月～9月に見られた。

50. クロコノマチョウ *Melanitis phedima oitensis* Matsumura

【記録】

2008.8.22 1ex. 谷田，2008.9.8 1ex. 谷田，2008.9.25 1ex. 谷田。

【文献記録等】

2000.9 1 蛹（飼育後♀羽化） 神々廻（近藤 2003）。

【解説】

大型のジャノメチョウ科のチョウで，暗い林の中を飛ぶ姿を見かけることのある「黒木間蝶」。照葉樹林内に生息する南方系のチョウで，翅を閉じて静止すると，まるで枯葉のよう。幼虫はイネ科のススキなどを食し，成虫で越冬する。近年，分布域を北に拡大しているとされ，船橋市では1999年に初めて記録された。

谷田で8月及び9月に見られたが，今後の分布域の拡大に注目する必要がある。

4. 白井市のチョウ相

(1) 記録種数

調査の結果7科50種の記録が確認できた。このうち，文献調査で確認できたのは6科38種，2004年～2006年及び2008年の現地調査により生息を確認できたのは7科46種である。文献調査で確認されたが，今回の現地調査で確認できなかったのは4種であるが，アサマイチモンジについては，生息環境の変化から既に消滅した可能性があり，また，オオチャバネセセリについては，県内各地で最近の採集記録などが報告されていないことから，白井市においても同様な現象が生じている可能性がある。ジャコウアゲハ及びゴイシシジミについては，今後も継続的に調査し，その結果を待って生息状況を判断する必要がある。

隣接する各市町の記録と比較してみると，別表（白井市周辺のチョウ分布表）のとおり，船橋市では8科64種，鎌ヶ谷市では8科61種，沼南町（2005年3月に柏市に合併）では8科54種，印西市では8科50種，八千代市では8科55種が記録されており，白井市は比較的少ない数の記録となっている。その要因としては，過去の文献記録が少ないことによるものが大きな要素と思われる。しかし，現存種として確認された7科46種の記録は，ほぼ北総地域の代表的なチョウを網羅していることができる。隣接し，自然環境も大きな差異がない船橋市の現存種とされるもののうち次のチョウを今後の調査で注目する必要があると思われる。

セセリチョウ科	ミヤマセセリ
アゲハチョウ科	ナガサキアゲハ
シジミチョウ科	ムラサキツバメ
	ウラナミアカシジミ
	トラフシジミ
タテハチョウ科	コムラサキ

表1 白井市周辺のチョウ分布表

種名	白井市	船橋市	鎌ヶ谷市	旧沼南町	印西市	八千代市
セセリチョウ科						
ミヤマセセリ		●	△	△		●
ダイミョウセセリ	●	●	●	▲	●	●
アオバセセリ				▲		
ギンイチモンジセセリ	●	●	●	●	○	●
ホソバセセリ			△			
コチャバネセセリ	●	●	●	△	○	●
ヒメキマダラセセリ			△	△		○
キマダラセセリ	●	●	●	△	●	●
オオチャバネセセリ	●	●	●			●
ミヤマチャバネセセリ	●	●	●			●
チャバネセセリ	●	●	●	●	○	●
イチモンジセセリ	●	●	●	●	○	●
科所産種計	8	9	11	9	6	10
アゲハチョウ科						
ジャコウアゲハ	●	▲		●	○	
アオスジアゲハ	●	●	●	△	●	●
アゲハ	●	●	●	●	●	●
キアゲハ	●	●	●	●	●	●
モンキアゲハ		●	△	▲		
オナガアゲハ		▲			○	●
種名	白井市	船橋市	鎌ヶ谷市	旧沼南町	印西市	八千代市
クロアゲハ	●	●	●	△	○	●
ナガサキアゲハ		●			●	●
カラスアゲハ	●	●	●	●	○	●
科所産種計	6	9	6	7	8	7
シロチョウ科						
キチョウ	●	●	●	▲	●	●
ツマグロキチョウ		▲	△	▲		
モンキチョウ	●	●	●	▲	●	●
スジグロシロチョウ	●	●	●	●	●	●
モンシロチョウ	●	●	●	▲	●	●
ツマキチョウ	●	●	●	●	●	●
科所産種計	5	6	6	6	5	5
シジミチョウ科						
ムラサキシジミ	●	●	●	●	●	●
ムラサキツバメ		●	●		●	●
アカシジミ	●	●	●	●	▲	●
ウラナミアカシジミ		●	△		▲	●

ミズイロオナガシジミ	●	●	●	●	▲	●
ミドリシジミ	●	●	●	▲		●
オオミドリシジミ	●	●	●	●		●
トラフシジミ		●		▲		●
コツバメ			△			
ゴイシシジミ	●	●	●	▲	▲	●
ベニシジミ	●	●	●	●	●	●
ウラナミシジミ	●	●	△	△	▲	●
ヤマトシジミ	●	●	●	▲	●	●
シルビアシジミ		▲				
ルリシジミ	●	●	●	●	●	●
ツバメシジミ	●	●	●	●	●	●
ウラギンシジミ	●	●	●	▲	▲	●
科所産種計	12	16	15	13	12	15
テングチョウ科						
テングチョウ	●	●	●	▲	●	●
科所産種計	1	1	1	1	1	1
マダラチョウ科						
アサギマダラ		●	△	●	●	●
科所産種計	0	1	1	1	1	1
タテハチョウ科						
メスグロヒョウモン	●	●	●		●	●
ミドリヒョウモン	●	●	●	▲		
種名	白井市	船橋市	鎌ヶ谷市	旧沼南町	印西市	八千代市
クモガタヒョウモン			△			
ツマグロヒョウモン	●	●				
ウラギンスジヒョウモン			△			
イチモンジチョウ	●	●	●	●	●	●
アサマイチモンジ	▲	▲		△		▲
コムスジ	●	●	●	▲	▲	●
キタテハ	●	●	●	●	●	●
ヒオドシチョウ		▲	●	△	▲	
クジャクチョウ		▲				
ルリタテハ	●	●	●	▲	●	●
アカタテハ	●	●	●	▲	●	●
ヒメアカタテハ	●	●	△	●	○	●
コムラサキ		●	△		▲	●
ゴマダラチョウ	●	●	●	●	○	●
オオムラサキ		▲	△			
科所産種計	11	15	14	10	10	10
ジャノメチョウ科						

ヒメウラナミジャノメ	●	●	●	▲	●	●
ジャノメチョウ	●	●	●	△	●	
ヒカゲチョウ	●	●	●	▲	▲	●
サトキマダラヒカゲ	●	●	●	●	●	●
ヒメジャノメ	●	●	●	●	●	●
コジャノメ	●	●	●	●	○	●
クロコノマチョウ	●	●	●	●	●	●
科所産種計	7	7	7	7	7	6
所産種合計	7科50種	8科64種	8科61種	8科54種	8科50種	8科55種

丸印：1990年以降 ●：採集などの記録がある，○：採集などの記録はない。

三角印：1989年以前 ▲：採集などの記録がある，△：採集などの記録はない。

(2) 白井市のチョウ相の特徴

千葉県レッドデータブック（千葉県環境部自然保護課 2000，千葉県環境財団 2006）では，絶滅の危機に瀕している種を，X（消息不明・絶滅生物），A（最重要保護生物），B（重要保護生物），C（要保護生物），D（一般保護生物）の5つのカテゴリーに分けているが，白井市では，Bのオオチャバネセセリ，ミヤマチャバネセセリ，アサマイチモンジ，Cのアカシジミ，ミズイロオナガシジミ，ミドリシジミ，オオミドリシジミ，ミドリヒョウモン，ジャノメチョウ，Dのギンイチモンジセセリの記録がある。

今回の調査では，白井市でのみに記録された貴重種はなかった。千葉県レッドデータブックなどを基に，白井市で特筆すべきチョウを掲げてみた。

①ミドリシジミ

谷田のハンノキ林に見られた。

②ジャノメチョウ

神々廻，谷田の草原に見られた。

③ミズイロオナガシジミ

神々廻，折立のコナラなどの雑木林及びその周辺で見られた。

④アカシジミ

谷田，折立のコナラなどの雑木林及びその周辺で見られた。

⑤オオミドリシジミ

谷田のコナラなどの雑木林の周辺で見られた。

⑥ギンイチモンジセセリ

谷田，神々廻などのススキ原で見られたが，局地的で個体数は少ない。

⑦ミドリヒョウモン

谷田の草原で見られた。

⑧テングチョウ

神々廻，折立のコナラなどの雑木林の林縁で見られた。

⑨メスグロヒョウモン

谷田の草原で見られた。

⑩アカタテハ

谷田，神々廻のコナラなどの雑木林及びその周辺で見られた。

千葉県レッドデータブックと同じカテゴリーで、白井市レッドデータブックの対象を選定すると次のとおりとなる。

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| X (消息不明・絶滅生物) | アサマイチモンジ |
| A (最重要保護生物) | ミドリシジミ, ジャノメチョウ |
| B (重要保護生物) | ミズイロオナガシジミ, アカシジミ, オオミドリシジミ |
| C (要保護生物) | ギンイチモンジセセリ, ミドリヒョウモン |
| D (一般保護生物) | テングチョウ, メスグロヒョウモン, アカタテハ |

なお、千葉県レッドデータブックでBのカテゴリーとされたオオチャバネセセリについては、市内での1990年代後半までの記録はあるものの、それ以降の記録がないことから白井市内では絶滅した可能性もあるが、現段階でのカテゴリーの判断は留保する。また、Bのカテゴリーとされたミヤマチャバネセセリについては、白井市内においてではあるが、今回の現地調査の観察記録から普通種と判断するのが適当と思われる。

(3) 環境の保全

今回の調査では、谷田で7科45種、神々廻で7科36種、折立で7科24種が確認された。谷田は、現地調査で確認された46種のうちミズイロオナガシジミを除く45種ものチョウが見られ、白井市の自然を代表する地域といえることができる。ただし、調査回数が、谷田66回、神々廻41回、折立18回となっており、調査の密度に左右される側面もあることも考慮する必要がある。

谷田には、シラカシなどの照葉樹やコナラなど落葉樹の林や草原があり、また、ハンノキ林もあり、環境の多様性からチョウ相は豊かである。希少種のチョウとしては、ギンイチモンジセセリ、アカシジミ、ミドリシジミ、オオミドリシジミ、テングチョウ、メスグロヒョウモン、ミドリヒョウモン、アカタテハ、ジャノメチョウが見られた。特に、ミドリシジミが発生するハンノキ林はこの近郊随一と思われる広範囲の林であり、人為的に管理された草原とともに保護する必要がある。

神々廻には、草原状の地域がいくつか残されており、また、コナラなど落葉樹の林もある。希少種のチョウとしては、ジャノメチョウ、ギンイチモンジセセリ、ミズイロオナガシジミ、アカタテハ、テングチョウが見られた。人為的に管理することによって、明るい草原が維持され、ジャノメチョウが発生している(谷川ほか, 2004)。そのため、草原の保護、管理が必要である。また、運動公園周辺のコナラなどの落葉樹林も保護する必要がある。

折立には、水田や果樹園があり、その周辺にはコナラなど落葉樹の林やスギの林がある。スギ林の生物相は貧しいが、コナラなどの林には、アカシジミ、ミズイロオナガシジミが発生するほか、林縁にはエノキを食草とするテングチョウも見られ、林の保護が必要である。

5. 引用文献

- 青木章八. 1988. 蝶に魅せられて一都会での育て方 観察のしかた一. 光陽出版社, 東京. 206p.
- 千葉県環境部自然保護課. 2000. 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック— 動物編. 千葉県環境部自然保護課, 千葉. 438p.
- 千葉県環境財団. 2006. 千葉県レッドリスト—千葉県の保護上重要な野生生物— (動物編) <2006年改訂版>. 36p. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉.
- 岩本吉也. 1972. 千葉県北部におけるアサマイチモンジの分布. 月刊むし(14): 70.
- 岩阪佳和. 1995. 千葉県動物誌鱗翅目標本データ目録. 房総の昆虫(15): 5-16.
- 岩阪佳和. 1999. 千葉県の鱗翅目蝶類. p.436-474. 千葉県生物学会 (編). 千葉県動物誌. 文一総合出版, 東京.
- 近藤頼人. 2003. 松戸市でナガサキアゲハを採集. 房総の昆虫(31): 13-14.

- 楠窪のり子. 1994. 印旛郡白井町でオオミドリシジミを採集. 房総の昆虫(10) : 14.
- 白井・沼南土地地区画整理組合設立準備委員会. 1993a. 白井・沼南土地地区画整理事業に係る環境影響評価書. 白井・沼南土地地区画整理組合設立準備委員会, 白井. 571p.
- 白井・沼南土地地区画整理組合設立準備委員会. 1993b. 白井・沼南土地地区画整理事業に係る環境影響評価書 資料編. 白井・沼南土地地区画整理組合設立準備委員会, 白井. 165p.
- 高橋 学. 2001. 「みんなで調べよう身近な昆虫 20 種」の中間報告. 房総の昆虫(25) : 50-53.
- 谷川正樹・金子是久・柄澤英理子・長谷川雅美. 2004. 千葉県白井市における管理形態の異なる二次草原の植物相及びバッタ目相. 千葉生物誌 54(1) : 1-10.
- 柳澤 勉. 1990a. 柏市近郊のチョウ採集記録集. 柳澤勉, 野田. 46p.
- 柳澤 勉. 1990b. 柏市近郊のチョウ採集記録集 増補版. 柳澤勉, 野田. 52p.
- 柳澤 勉. 1992. 柏市近郊のチョウ採集記録集 改訂版. 柳澤勉, 野田. 126p.
- 柳澤 勉. 1994. 柏市近郊のチョウ採集記録集 改訂 2 版. 柳澤勉, 野田. 113p.
- 柳澤 勉. 2002. 柏市近郊のチョウ採集記録集 改訂 3 版. 柳澤勉, 野田. 141p.

表 1 (白井市周辺のチョウ分布表) データ引用文献

《船橋市関係》

- 圓谷 浩. 2003. 船橋市でアサギマダラを目撃. 房総の昆虫(31) : 10.
- 圓谷 浩. 2003. 船橋市でギンイチモンジセセリとミヤマチャバネセセリを目撃. 房総の昆虫(31) : 12.
- 圓谷 浩. 2005. 船橋市におけるミヤマチャバネセセリの観察記録. 房総の昆虫(34) : 口絵, 23-25.
- 深川幸雄. 2004. 船橋市でナガサキアゲハを採集. 房総の昆虫(33) : 41.
- 深川幸雄. 2006. 船橋市で採集した蝶類. 房総の昆虫(37) : 64.
- 萩原俊英. 2008. 千葉県船橋市でムラサキツバメを採集. 蝶研フィールド 23(1・2) : 81.
- 京都大学蝶類研究会. 2001. 2000 年日本産蝶類採集記録. SPINDA(16) : 79-97.
- 三沢博志. 2001. 船橋市のチョウ. 房総の昆虫(25) : 21-29.
- 鈴木智史. 2002. 船橋市と佐倉市でムラサキツバメ採集. 房総の昆虫(28) : 3.
- 鈴木智史. 2003. JR 船橋駅でアサギマダラを目撃. 房総の昆虫(29) : 2.
- 鈴木智史. 2003. ムラサキツバメの異常型. 房総の昆虫(31) : 9.
- 田中利彦. 2008. 船橋市でナガサキアゲハとツマグロヒョウモンを記録. 房総の昆虫(40) : 45.
- 横田隆夫. 2005. 船橋市でミヤマチャバネセセリを確認. 房総の昆虫(35) : 12.
- 横田隆夫. 2007. 船橋市でツマグロヒョウモンを多数確認. 房総の昆虫(39) : 108.

《鎌ヶ谷市関係》

- 青木章八. 2004. 柏市とその周辺におけるムラサキツバメ発生の 2003 年と 2002 年. 房総の昆虫(32) : 57-59.
- 鎌ヶ谷市史編さん委員会. 1982. 鎌ヶ谷市史 上巻. 901p. 鎌ヶ谷市, 鎌ヶ谷.
- 木村 巧. 2000. チョウ類目録. p.435-439. 鎌ヶ谷市教育委員会・鎌ヶ谷市史編さん事業団自然部会編集委員会 (編). 鎌ヶ谷市史 資料編VII (自然). 鎌ヶ谷市, 鎌ヶ谷.

《旧沼南町関係》

- 松崎耕三. 2001. ヤマトシジミがいない?. 房総の昆虫(26) : 22.
- 大塚一郎. 2007. 千葉県内で記録した蝶類—1994 年からの追加目録—. 房総の昆虫(38) : 67-98.
- 佐藤隆士. 2003. 松戸市周辺での 2000 年夏以降のクロコノマチョウの確認記録. 房総の昆虫(29):8.
- 沼南町. 1979. 沼南町史 第 1 巻. 沼南町. 379p.
- 柳澤 勉. 2002. 柏市近郊のチョウ採集記録集 改訂 3 版. 柳澤勉, 野田. 141p.

《印西市関係》

- 印西市市民経済部生活環境課. 2003. 印西市自然環境調査報告書 平成 15 年 3 月. 印西市, 印西. 87p.
- 印西市市民経済部生活環境課. 2006. 印西市自然環境調査報告書 平成 18 年 3 月. 印西市, 印西. 90p.
- 印西市市民経済部生活環境課環境保全班. 2007. 身近な生き物マップ. 平成 18 年度版—生物モニタリング調査(昆虫類編)—7p. 印西市市民経済部生活環境課環境保全班, 印西.
- 近藤頼人. 2003. 松戸市でナガサキアゲハを採集. 房総の昆虫(31): 13-14.
- 小川友誉・菅野広司・菅野正之・清水敏夫. 2005. 印西市木下における動物相. p.25-71. 千葉県立印旛高等学校園芸科(編). 千葉県印西市自然環境調査報告書. 千葉県立印旛高等学校園芸科, 印西.
- 佐藤隆士・井上大成. 2001. 2000 年から 2001 年にかけての千葉県内のムラサキツバメの発生状況に関する調査結果の近況. 房総の昆虫(26): 3-5.
- 佐藤隆士・井上大成. 2003. 千葉県におけるムラサキツバメの発生状況に関する調査 2. 房総の昆虫(29): 3-6.
- 柳澤 勉. 2002. 柏市近郊のチョウ採集記録集 改訂 3 版. 柳澤勉, 野田. 141p.

《八千代市関係》

- 深川幸雄. 2004. 八千代市でオナガアゲハとナガサキアゲハを採集. 房総の昆虫(33): 41.
- 鴻田昌彦. 1978. アサマイチモンジ, 八千代市に多産. 月刊むし(87): 30.
- 鈴木智史. 2000. 八千代市のチョウ類. p.245-257. 千葉県環境財団(編). 八千代市水辺の自然環境調査報告書. 八千代市経済環境部環境保全課, 八千代.
- 鈴木智史. 2002. 八千代市でムラサキツバメ採集. 房総の昆虫(28): 3.
- 八千代市. 1991. 水辺の動植物生息調査報告書. 321p. 八千代市, 八千代.

